

中国における「池田思想」研究の動向（11）

高 橋 強

1. 池田思想研究の学術シンポジウム等

（1）第8回「池田大作平和思想研究国際フォーラム」

2014年3月2日台湾台北市の中国文化大学にて、学者や学生約500名が参加し、「生命尊厳と平和共存」のテーマのもと上記フォーラム（同大学「池田大作研究センター」主催）が開催された。同フォーラムでは8大学から15名の学者が論文発表を行った。

「基調報告」では、同大学の張鏡湖理事長が「創価学会と池田大作先生の世界平和に対する貢献」と題し講演した。まず日本の軍国主義に抵抗して獄死した牧口初代会長の闘争に触れ、「その不撓不屈の正義の精神は、人類史に刻まれるもの」と強調した。第三代を継承された池田先生は、二十世紀最も著名な歴史学者トインビー博士と対談され対談集を出版された後、67名の世界各界のリーダーと対談集を出版されながら、創価学会と共に世界平和に顕著な貢献をなされた。それは池田先生の世界各国の文学や宗教に対する博学と、世界の歴史や政治から体得された深き智慧から出発したものである。

以下、「会議日程」に基づき発表論文のテーマを紹介する（以下敬称略）。

午前中、以下の分科会が開催された。

第1分科会

高橋強「『仏法的なものの見方』の人間教育に対する示唆」（創価大学）

林彩梅「池田大作の生命尊厳と平和共存」（中国文化大学）

唐彦博「池田大作の環境共生思想から台湾の自然環境永續発展思考を論ずる」（台北海洋技術学院）

第2分科会

葛瑞森「The Hermetic Tradition and the art of memory」（中国文化大学）

劉廷揚「池田大作思想と行動の美学リーダーに対する啓発の研究」（高雄師範大学）

第3分科会

陳尚彦「人類は平・和から世界平和に向かって」（万能科技大学）

陳鵬仁「宇宙・地球・人類」（中国文化大学）

午後、以下の分科会が開催された。

第1分科会

劉廣英「人類は永続的に快適に世代代相伝可能か」（中国文化大学）

劉焜輝「池田大作の生命観——生命活性の意義」（中国文化大学）

王吉林「人心・道心・平和心」（中国文化大学）

第2分科会

張文龍「創価教育体系学習者の創業能力向上および創業政策策定に対する有益性の研究」（実践大学）

李彦良「平和、文化と教育から見た環境保護下の産官責任」（中国文化大学）

第3分科会

頼明材「『和平世紀的教育曙光』を読んで」（南台科技大学）

陳正良「池田大作の平和提言における『対話』と国労組織の『社会対話』」（中国文化大学）

呉安妮「池田大作の人間思想の企業の『利他』価値観構築に対する影響」（政治大学）

(2)「池田思想研究」パネル・ディスカッション

5月9日、中国の池田思想研究者5名が創価大学を訪問し「池田思想」をめぐってパネル・ディスカッションを行った。以下、報告者の要旨を紹介する。（敬称略）

单珏慧（浙江大学）：

三つの視点から自身の池田思想研究の実践を紹介する。一つ目は「Why」です。なぜ池田研究に関心を持ったのか。池田先生の青年に対する大きな期待である。それは「あなたの成長を待っている人がある。あなたの優しさを待っている人がある。（略）あなたには、あなたしかない使命がある」である。

二つ目は「What」です。池田研究の過程でどんな啓発を受けたか。それは教師として、学生にどのように教育していくかに関するものです。「人生」を語る際に、「自身の使命をわかるにはどうしたらいいか。じっとしてはわからない。（略）目の前の山を登れということだ」を常に基準にしている。

三つ目は「Where」です。池田研究を通してどこに向かうか。一つ目、二つ目の課題に取り組みながら常に思索している内容である。

王雪超（天津師範大学）：

中国の多くの青年は、中日関係を改善していく鍵は、歴史問題と領土問題を乗り越えることだと考えている。そして前者の中に一種の「被害者」意識が隠されているように思える。日本の中国侵略という史実から、同意識は十分に理解できるが、長期にわたりそれを持ち続けると客観性や理性から遠ざかってしまう。

池田先生が一つの正しき方向性を示している。「狭い民族主義や国家の限界を超えて、大きな歴史観を形成し、人類という共通の立場に立ち歴史を俯瞰し、未来を展望すべきである」と。このような歴史観を形成する為に、中日の青年は手を携えて前進すべきである。

王育鋒（山西大学）：

自分自身、池田思想の受益者であると実感する。池田思想の研究を通して、内面の人間革命や、また自身の思想が昇華し刷新されていくのを実感する。現在、池田先生の平和思想、人間外交、人間革命、世界市民等の思想に関心がある。

池田先生は、自身の使命を実践する為に、平和の為に文章を書き語り抜き、対話を通じた交流を推進し、更に青年に交流を勧め、自身が提唱する人間外交を進めておられる。まさに言行一致の平和実践者である。

蔡立彬（仲恺農業工程学院）：「廖承志と池田大作研究センター副センター長」

本研究センターは、一つの研究成果として『廖承志と池田大作』（中央文献出版社）を発刊し、戦後の中日往來の歴史を回顧し、中日現代史の新たな研究領域を開いた。

自身の研究成果としては、「青年、平和教育を重視し、中日の友好を促進」や「池田大作の生態文明思想及びその示唆」等の論文がある。前者においては、池田先生の“全ての知識は人類の幸福、平和を導くべきで、従ってその唯一の原動力は教育である”を強調したい。また後者においては、やはり池田先生の“全ての生物は共存共栄であるべきで、人間とその他の事物も融合し共生であるべきだ”という思想を強調したい。

胡曉麗（清華大学）：

池田先生の平和文化思想には二つの特色がある。一つは、文化の多様性を尊重し多元文化の共生を強調していることである。21世紀の人類は、多様性を尊重し、互いの差異を価値創造の源泉とし、互いに積極的に影響し合い、共に存在し共に栄えていくべきである。その基礎となる精神は、儒教の「中庸」思想、仏教の「中道」思想に求められる。

もう一つは、平和文化の構築と文明間対話の結合を強調していることである。現在世界で提唱されている「文化相対主義」は、互いの差異を理解するに留まっているに過ぎない。重要なことは、どのようにして現実の平和文化構築と連動させていくかである。

（3）第11回「サービス業管理とイノベーション」学術シンポジウムでの基調報告

5月22日台湾台南市の南台科学技術大学にて、上記学術シンポジウム（同大学商管学院、国立澎湖科学技術大学人文管理学院、中華サービス管理学会主催）が開催され、「池田大作の平和共生思想から『職業倫理』の重要性を論ずる」のテーマのもと4名の研究者による基調報告が行われた。

発表者とテーマは以下の通りである。（敬称略）

林彩梅「職業倫理における平和共生精神の重要性」（中国文化大学）

唐彦博「池田大作の平和共生思想から『職業倫理』の重要性を論ずる」（台北海洋技術学院）

劉廷揚「平和共生思想の企業の社会的責任、労働者の職場道徳および現代職業倫理に対する啓発」（高雄師範大学）

高橋強「『利他』と『利己』の調和を探究する」（創価大学）

（4）北京大学、復旦大学「名誉教授」称号授与30周年記念「講演会」等

10月16日北京大学、復旦大学にて、池田大作氏への「名誉教授」称号授与30周年を記念して学術行事が行われた。北京大学では教育学院にて中国教育学会の顧明遠名誉会長が講演を行った。また復旦大学では日本研究センターにて、特に2013年に設立された「池田大作思想研究センター」の研究員中心に池田研究の意義について討論した。

顧明遠名誉会長の講演（要旨）

池田先生はこれまで北京大学にて3度講演をされたが、池田先生の中国文化に対する深い見識と尊敬の念を強く感じる。これら講演の中の特に、西洋の文化と比較して中国は「神のいない文明」であるとの指摘、また中国は平和を愛する民族であり、「尚文」の国家であるとの視点は非常に的確な判断である。

池田先生との対談集『平和の架け橋』を発刊した。貴重な対談を通して、池田先生の思想は、聡明さと智慧に溢れていると実感した。さらに池田先生は、人生とは何かという問いを、はっきりと悟っておられる。対談のテーマは、平和と教育そして文化教育であった。平和を持続させるためには、教育と対話に頼るしかない。

（5）第8回「池田大作思想国際学術シンポジウム」

10月18日、19日「『精神のシルクロード』で開く新時代」のテーマのもと、上記シンポジウムが陝西師範大学にて開催された。世界各地の43大学・諸機関から約100名の研究者が参加した。提出された論文は78本であった。

18日午前、「基調報告」の中で、同大学周偉洲教授（中国魏晋南北朝史学会会長、中国中外関係史学会副会長）は、まずドイツの地理学者が提唱したシルクロードが、その後、多くの研究者によって研究され、その定義や概念が拡大して行った変遷を論じ、大要以下のように述べた。シルクロードの研究は、言語学、人類学、民俗学、科学技術、宗教学など、多様な学問分野が関わる学際的な内容となっている。現在、中国政府は「シルクロード経済ベルト」という構想を打ち出し、新しい経済協力・発展の未来を展望している。池田先生は、早い時期から、シルクロードの重要性を高く評価し、“シルクロードとは、文化交流を促進する道であり、民衆の心と心を結ぶ道であり、世界平和につながる道である”と主張している。池田先生が提唱する「精神のシルクロード」は、シルクロードの新たな可能性を開く概念として評価すべきものである。

18日午後は、4つの分科会に別れ議論が交わされた。以下、各分科会での発表者と論文テーマを紹介する。（敬称略）

第1分科会（対話発展Ⅰ）

温憲元「世界多元文化と21世紀の海のシルクロード」（広東社会科学院）

汪鴻祥「池田大作の“精神のシルクロード”思想及び実践」（創価大学）

林振武「池田大作の“精神のシルクロード”の豊かな思想」（嘉応学院）

曲德林等「ウィン・ウィン精神で新シルクロードを構築」（清華大学）

陳鵬仁「対話の文明」（中国文化大学）

王育鋒「池田大作の対話思想及び現代的価値」（山西大学）

劉建榮「文化対話：人類の平和幸福への共通認識」（湖南師範大学）

蔡瑞燕「池田大作の精神のシルクロード思想の智慧」（仲恺農業工程学院）

曾建平「池田大作の環境正義観」（井岡山大学）

第2分科会（教育発展Ⅰ）

林彩梅「池田教育哲学の青年教育への示唆」（中国文化大学）

高岳倫「青年発展と交流協力」（仲恺農業工程学院）

章舜欽「教育は池田大作が世界平和を実現する重要な過程」（アモイ大学）

森佳子「人間教育の世紀」（大阪芸術大学）

傅紅英「池田大作の生命尊厳思想及びその現代教育への示唆」（紹興文理学院）

蔣菊「創価大学の創造性ある人材を養成する実践と意義」（肇慶学院）

李丹「池田大作美育思想及び大学芸術教育への示唆」（大連芸術学院）

孟昊博、蘆寧「池田大作の教育の智慧の淵源」（広西師範大学）

馬亜男「池田大作の人間教育理念」（南開大学）

第3分科会（平和主義Ⅰ）

紀亜光、関毅「歴史性とは：“周恩来、池田大作会談”」（南開大学）

劉愛君「中日民間交流のケース研究」（大連工業大学）

陳曉春、劉姪雲「文化ソフトパワーに基づいた池田大作の平和思想研究」（湖南大学）

劉小華「池田大作の文化安全思想」（湖南大学）

周長山、袁秀華「池田大作の平和思想と中国伝統の人間主義」（広西師範大学）

満喆「池田大作の中日友好の人生とその示唆」（佛山科学技術学院）

潘德昌、呂爽「池田大作の中日友好思想の淵源」（渤海大学）

紀淳「池田大作の10度の訪中と中日世代代の友好」（燕山大学）

安雅琴「池田大作の今日の中日関係に対する考察」（南開大学）

李奎「道家と池田大作の平和観」（貴州大学）

第4分科会（人間主義Ⅰ）

譚桂林「池田大作の児童、母を題材にした描写」（南京師範大学）

松森秀幸「池田大作の仏教思想の淵源」（創価大学）

李彦良「創価教育から見た環境保護行為の青年への影響」（中国文化大学）

劉焜輝「二十一世紀の青年の発展とその課題」（中国文化大学）

川崎高志「創価の青年教育：日中友好精神の育成と周恩来、鄧穎超夫妻に対する敬愛の継承」（創価大学）

曹婷「大きな愛には国境はなく、物を潤しても音は聞こえない」（陝西師範大学）

拜根興、周婷婷「池田大作の青年観」（陝西師範大学）

单珏慧「女性の文明と二十一世紀の中国」（浙江大学）

陳志興「池田大作の幸福倫理観とその示唆」（南昌大学）

伊藤順子「池田哲学思想の実践報告」

19日午前、5つの分科会に別れ議論が交わされた。以下、各分科会での発表者と論文テーマを紹介する。（敬称略）

第1分科会（対話発展Ⅱ）

劉繼生「文化交流の過程とエネルギー」（創価大学）

樋口勝「価値相対主義を超える難しさ——馮契と創価思想」（創価大学）

馬樹茂「中日仏教文化交流の先駆者：靈仙三蔵法師」（培華学院）

杜永寛「池田大作と墨家の智慧」（武漢大学）

馬明衡「池田大作の人間外交思想再考」（南開大学）

車才良「池田大作書籍の中国語訳」（井岡山大学）

第2分科会（教育発展Ⅱ）

洪剛、崔学森「池田大作の“国際理解教育”思想」（大連海事大学、遼寧師範大学）

羅国振、王莹「教育の大家、思想の大師、友好の大使」（華東師範大学）

藤田陽三「西安培華学院と創価大学」（培華学院）

趙飛「池田大作の調和徳育観及びその実践的価値」（佛山科学技術学院）

倉貫勢津子「池田大作の恩師：戸田城聖の人生、思想及び教育論」（華東師範大学）

柳娜「池田大作の品格教育思想のわが国の大学品德教育への示唆」（大連芸術学院）

湯偉「池田大作の“人間革命”と孔子の教育観」（貴州大学）

賈凱「池田大作の青年徳育観」（南開大学）

第3分科会（平和主義Ⅱ）

王麗栄「池田大作の女性観と文化構築」（中山大學）

姚勝旬「平和思想と創価学会のニュース報道」（貴州大学）

魏明枢、魏宇文「池田大作の歴史主体思想」（嘉応学院）

李辛、呂爽「池田大作の中日友好思想及び現代的価値」（渤海大学）

鄭文娟「世界平和と青年の使命」（南開大学）

楊曉成「周恩来、池田大作の文化交流観比較」（南開大学）

魯麗薇「池田大作の生命尊厳学説の現代的価値」（アモイ大学）

第4分科会（文化主義）

張文良「“第三文明”への探求」（人民大学）

董芳勝「池田大作の音楽芸術観から“人間革命”の真理を探る」（創価大学）

高橋強「池田大作の文化交流思想及び文化主義」（創価大学）

冉毅「人間と自然の相互存在意義」（湖南師範大学）

卓光平「“池田魯迅”：海外での魯迅伝播の新たな現象」（紹興文理学院）

陳立新「鶴見俊輔と彼の符号哲学」（上海杉達学院）

徐芳「共生と調和：池田大作の文化観」（陝西師範大学）

第5分科会（英語セッション）

Olivier Urbain Daisaku Ikeda's Global Vision for the 21st Century in A Forum for Peace
(Toda Institute for Global Peace and Policy Research)

Virginia Benson Looking East: What an American could learn from Chinese culture on a
“Spiritual Silk Road” (Ikeda Center for Peace, Learning, and Dialogue)

Jason Goulah Bilingual Bicultural Education Director (De Paul University)

Masaru Osanai Study on “The Society for Education” (Soka University)

今回のテーマが池田氏の提唱した「精神のシルクロード」が中心であり、また開催地が西安（かつてのシルクロードの起点・長安）であった関係で、「精神のシルクロード」を直接扱った論文、更には文化・文化交流に探求した論文も少なくなかった。例えば、「“精神のシルクロード”の思想及び実践」、「“精神のシルクロード”の包括する豊かな思想」、「“精神のシルクロード”の思想と智慧」、「What an American could learn from Chinese culture on a “Spiritual Silk Road”」、「文化交流の過程とエネルギー」、「中日仏教文化交流」、「文化交流思想と文化主義」、「音学芸術観」、「文化観」、「周恩来、池田大作の文化交流観比較」等である。

2014 年は池田氏が始めて中国を訪問されて 40 周年という佳節でもあったので、日中友好促進に関する論文が多かった。例えば、「中日民間交流のケース研究」、「文化ソフトパワーと平和思想」、「文化安全思想」、「中日友好の人生とその示唆」、「中日友好思想の淵源」、「中国における池田大作書籍の翻訳書」、「中日友好思想とその現代的価値」等である。池田氏の日中友好促進の実践を考える際に、周恩来との会見は極めて重要である。それを反映してか以下のような視点の論文も発表された。「周恩来、池田大作会見の歴史性」、「日中友好精神の育成と周恩来、鄧穎超夫妻に対する敬愛の継承」である。

提出された論文を全体的に俯瞰して見ると、やはり「教育思想」関係の論文が圧倒的に多かった（提出論文の四分の一を占めた）。例えば、「人間主義教育の世紀」、「人間主義教育理念」といった人間主義からの考察や、「池田教育哲学の青年教育への示唆」、「青年の発展と交流、協力」、「青年徳育観」、「青年観」といった青年教育への応用や、「美育思想」、「品格教育思想」、「調和徳育観」、「国際理解教育思想」といった詳細な内容等、教育思想研究の広がりが見える。

池田思想研究も今回で第 8 回目となるが、中国の思想家、文学者との比較研究等の成果も発表され極めて興味深い。例えば、「道家と池田大作の平和観」、「馮契と創価思想」、「池田大作と墨家の智慧」、「池田大作の人間革命と孔子の教育観」、「池田魯迅」等である。日中文化交流の一翼を担いつつあることを実感する。

（6）「池田思想研究」パネル・ディスカッション

10 月 31 日、中国の池田思想研究者 5 名が創価大学を訪問し「池田思想」をめぐるパネル・ディスカッションを行った。以下、報告者の要旨を紹介する。（敬称略）

王曉初（紹興文理学院）：「魯迅・池田大作研究所」所長

池田先生の平和思想の淵源から考察すると、彼は多くの伝統思想の啓発を受けているばかりでなく、現代の思想家との間にも深い共鳴が認められる。池田先生の墨子の平和思想に対する理解と受容は、魯迅の小説「非攻」の中に、共鳴と深い啓発が探し出せる。具体的に述べると以下の 3 点である。

第一点は、文化と文明の“文”の力で“武”の力を抑制し、世界平和を実現することである。第二点は、“果敢な行動”で平和事業を推進することである。第三点は、“勇気ある対話”を通し

て平和という目的を達成することである。

愈慰剛（華東理工大学）：

池田思想研究する中で、池田先生の中国人民に対する深い友誼を感じる。それは池田先生の人類平和の思想体系から来ており、仏教の生命尊厳に淵源がある。池田先生は、この思想を実際の行動に移し、国際的な文化交流を強化すると同時に、青年に対する教育を重視し、日本ばかりでなく世界にも学校を創設し、青年教育を通して、人類の平和を世代代に渡って永続させようとしている。

李彦良（中国文化大学）：「池田大作研究センター」所長

近年来多くの学術論文において、文化の多様性、物の種類の多様性等の重要課題が強調されているが、これらの多様性の存在を認めるという価値概念は、共生社会構築の第一歩である。中国語の中に「同理心（理＝心にとめる、気にかける）」という言葉がある。一人一人異なった文化背景、学習環境、社会構造で育ち、受け継いできた「理」は違っていても、「理」を繋いでいくことによって初めて「同理心」を形成することができる。このことは世界平和を推進する基礎である。

傅紅英（紹興文理学院）：「魯迅・池田大作研究所」

池田思想の中で一番興味を持っているのは、生命尊厳の哲理である。教員として、教育の分野における生命尊厳の意義を知り、その哲理が実践される可能性があるかどうかを研究していきたい。

魯迅の思想と池田先生の思想は、共鳴するところがとても多い。これまで発表した論文の中に、池田先生と魯迅の生命尊厳の思想を比較したものがある。世界平和であれ、環境問題であれ、また個人の人間関係であれ、全て生命尊厳というテーマに関わっているからである。

陳志興（南昌大学）：

私の池田思想研究のテーマは、「池田先生の人間教育とその背景にある法華經の智慧との関係」というものです。池田思想を深く理解するには、その思想を支えている仏法の思想を理解しなければならない。

この目的を達成する為にも、今後は、池田先生と世界の識者との対談集や、牧口先生の『創価教育学体系』等を研究していきたい。

(7) その他（院生等のシンポジウム）

① 11月22日、中国文化大学「池田大作研究センター」が「21世紀を展望した平和、文化と教育」のテーマのもと、「池田大作平和思想研究第2回国際青年フォーラム」を開催した。これに

は21の大学から約200名の学部・大学院生が参加した。提出された論文は計42本であった。

発表論文は以下の通りである。

第一分科会

王莉宸「池田大作人間主義及び平和共生思想の企業リスク文化構築における実践」（政治大学）

梁容恺「池田大作平和思想と経済発展型形態転換への探求」（淡江大学）

朝野嵩史「池田大作先生の地球市民の理想像」（東海大学）

常景然「21世紀の新革命」（中国文化大学）

楊曉琳「世界の女性の連帯と幸福な新時代の構築」（政治大学）

第2分科会

張乃文「池田大作『対話』理念の企業の福利制度を以て労働者組織の承諾を進めることに対する啓発」（高雄師範大学）

楊弘偉「仏法と環境」（台湾大学）

常鵬「池田先生の『対話精神』の現代社会道德を救済することに対する啓発」（湖北大学）

王昭翔「一人立つことにより社会発展を推進する」（元智大学）

呂馥伊「訴訟外の紛争解決システムにおける対話哲学」（交通大学）

第3分科会

羅棋駿「対話と平和の文明」（台湾師範大学）

程曼詩「『依正不二』思想から人間と自然の関係を解説する」（湖北大学）

蔡依鋒等3名「池田大作思想から医療従事者と重症患者の関係を考える」（中国医学大学）

徐萃甄「創価人間主義思想と企業の社会的責任『労働者ボランティア・システム』の研究」（高雄師範大学）

許秉光「池田先生の思想の体育科における効能」（台中教育大学）

第4分科会

王文彬「池田大作平和思想の世界に対する影響」（中山大学）

鄭文馨「21世紀科学技術がもたらした疎外感」（中原大学）

王邑維「自身の行動で環境を変える」（中山大学）

朱專捷「TRIZ思考から池田大作思想研究をモデル化する」（聖ヨハン科技大学）

李佳穎「学ぶことを嫌がる心から見た教育における人間主義精神の欠落」（湖北大学）

第5分科会

郭柏均「池田大作——子供たちは『未来の宝』への評論」（中国文化大学）

伊莉禎「組織変革の新たな力」(高雄師範大学)

呂佩珊「儒家の性善説自覚性と池田大作の人間革命との関係」(政治大学)

高遥「新世界文化の危機と曙光」(湖北大学)

周羿伶「人間の心の力の復興」(中山大学)

陳鉸「心の点滴」(台湾大学)

第6分科会

戴宇柔「労働者の世界市民教育と消費者の満足度」(中国文化大学)

鄭姪好「池田大作平和共生思想のわが国民衆の環境影響評価システム参与における啓発」(政治大学)

陳思潔「平和文化経営理念と労働者の士気との関係」(中国文化大学)

杜怡潔「池田大作の市民観からリーダーの風格と労働者の幸福感を論ずる」(高雄師範大学)

陳冠豪「池田大作人間主義思想の企業利害関係者の価値創造に対する影響」(南台科技大学)

蘆怡方「児童の声なき声」(新竹教育大学)

第7分科会

楊萬崧「大学は如何に再び『教育』の使命を発揮できるか」(中央大学)

徐文駿「新たな地球社会が備えるべき元素を創造する」(中国文化大学)

朱達「科学技術と宗教は世界平和を実現する双壁」(湖北大学)

陳瑞呈「池田大作博士の『平和共生精神』から見た中小企業国際化の経営効率に対する影響の探求」(中国文化大学)

黃翊庭「人間主義的科学技術」(台北科学技術大学)

李庭旭「ロック思想と池田先生の思想・中道政治観念の共通性」(輔仁大学)

第8分科会

文淑婷「家庭教育回帰と幸福な人生」(湖北大学)

林佩儀等3名「平和文化経営理念応用の飲食産業の研究」(中山医学大学学部生)

黃元彦「一対一の通信教育及び教員・学生制度と創価人間教育理念の応用と実践」(中央大学)

于立宸「『教育』を以て『世界市民』の人材を育成し、『対話』を通し『世界平和』を推進する思想」(中国文化大学)

② 12月5日、南開大学「周恩来・池田大作研究会」が周恩来総理と池田大作氏との会見40周年を記念して、「周恩来・池田大作と21世紀の青年文明対話」のテーマのもと、青年フォーラムを開催した。これには約80名の研究者・教員・学生が参加した。発表論文は計17本であった。また論文発表の前に、以下の基調報告があった。(敬称略)

田代康則「人間教育論」（創価大学）

周曉芳「周恩来総理の平和友好事業」（周恩来平和研究院）

高橋強「文化対話主義と世界市民」（創価大学）

温憲元「池田大作の青年観と中国青年の使命」（広東社会科学院）

大野俊三「困難と人生」（音楽家）

第1セッション

王雪超「中国近代史上の悲観的心情と現代中日関係」（天津師範大学）

王育鋒「周恩来、池田大作平和友好思想の現代的価値」（山西大学）

紀淳「池田大作の十度の訪中と中日世代代友好の基礎」（燕山大学）

劉文雅「知識を世界に求め、足を脚下に立てる」（内モンゴル阿拉善盟盟委員会組織部）

陳清香「池田大作の『平和提言』から池田の平和、文化、教育思想を考察する」（南開大学）

安雅琴「池田大作の当代中日関係に対する思考を論ずる」（南開大学）

第2セッション

呂雪艷「文明対話と人生の幸福」（南開大学）

馬明衡「池田大作の人間外交思想再考」（南開大学）

姜芦洋「和して同ぜず、海は百川を納める」（瀋陽工程学院）

魏嘉「池田大作文化交流観の青年の成長に対する示唆」（南開大学）

光妹瑜「池田大作『善悪不二』観から見た『人間革命』思想とその徳育活動における応用」
（遼寧師範大学）

高琪、王倩「平和思想の当代的価値」（南開大学）

第3セッション

陸陽「張伯苓と池田大作の大学理念の異同を論ずる」（南開大学）

韓佳美「継承と開拓」（南開大学）

岡田将明「友好交流と青年の成長」（大連工業大学）

川上美喜、吉村香織「誠実な態度、勇気溢れる行動」（創価大学学部生）

符曉娇「池田大作『対話』理念の思想政治教育における応用」（遼寧師範大学）

2. 新設の池田大作研究機関

（1）南京理工大学「池田大作思想研究室」2014年10月設立

主任：張楠講師（外国語学院日本語学部部長）、研究員：薛華民講師（日本文化研究所副所長）、

中上徹也（外国語学院外国人教師）、施京京（外国語学院日本語学部教師）

趣旨：池田大作氏の教育に関する思想や事績の研究を通して、教育分野における中日両国の相互

理解と交流促進を目的とする。

3. 池田研究の成果等

2012年10月に上海師範大学にて開催された「多元文化融合下における現代教育」(第7回「池田大作思想国際学術シンポジウム」(上海師範大学と創価大学共催)の論文集『多元文化融合下の現代教育研究』(陸建非、寺西宏友主編、上海三聯書店2014年4月)が出版された。

林振武(嘉応学院・池田大作文化哲学研究所所長)『池田大作人文思想的内在逻辑』(中国社会科学出版社2014年4月)が出版された。

劉建栄、邱正文『人類幸福的探索——池田大作思想研究』(華中師範大学出版社2014年5月)が出版された。

蕭正洪、拜根興(陝西師範大学・池田大作香峯子研究センター)『池田大作香峯子思想的新探索』(社会科学文献出版社2014年9月)が出版された。

中国文化大学「池田大作研究センター」が「池田大作思想研究論文集」(第9号2013年7月)、論文集「展望21世紀的和平、文化与教育」(第1冊2014年10月)を出版した。

南開大学「周恩来・池田大作研究会」が雑誌「金橋」(第4期2014年12月)を発刊した。

創価大学で開催された「中国交換教員研究座談会」(7月31日、12月8日)にて以下の報告があった。発表者とテーマは以下の通りである。(敬称略)

徐曉娟「教育への情熱と人間主義の精神を深く尊敬——池田大作思想からの感想」(延安大学)

鄭文娟「創価大学の中日友好に対する役割」(南開大学)

曹婷「池田香峯子研究」(陝西師範大学)

谷峪「不幸を無くすことが教育の真の目的であり使命——生涯教育における池田大作研究の意義」(東北師範大学)

羅国振「友好の大使、思想の大師、教育の大家——池田大作“精神のシルクロード”の内容と教育実践」(華東師範大学)

黃順力「人間性の共鳴で心の交流“金の橋”を築く——池田大作“精神のシルクロード”思想の探求」(アモイ大学)

陶金「池田大作の『対話思想』と東洋仏学の智慧」(大連海事大学)

なお日中友好学術助成プログラムで、「大学生の成長における池田大作の人間教育思想の役割に関する研究」と「池田大作の幸福思想の内容及び今日的啓発について」が日本滞在研究助成として採択された。